

要介護認定事務の負担軽減へ
株式会社NTTデータ東北様と郡山市が
AI 言語処理技術の適用について
実証実験を行います



ターゲット 3.8

令和元年 12 月 2 日
郡山市保健福祉部
介護保険課
担当：七海 満
TEL：924-3021

SDGs ターゲット 3.8 「全ての人々に対する質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスを達成する」

多くの時間と手間を必要とする要介護認定事務において、AI の言語処理技術を適用させる
全国初の取り組みを、株式会社NTTデータ東北様と郡山市が共同で実施します。

この度、その協定を締結します。

- 1 日時 12月4日(水) 午後4時
- 2 場所 市役所秘書課第2応接室(本庁舎2階)
- 3 出席者 株式会社NTTデータ東北
代表取締役社長 濱 功明 様
公共事業部 事業部長 秋元 聡 様
デジタルトランスフォーメーションオフィス 開発部長 大森 知竹 様
公共事業部 営業部 課長 相場 映希 様
郡山市長
保健福祉部長

4 実証実験の内容

要介護認定事務の認定調査票について、基本調査項目の選定内容と特記事項の
記述内容の整合事務においてAI機能を活用する。

<経緯・背景>

日本はいま、急速な勢いで超高齢化社会を迎えており、介護を必要とする方は、2019(平成31)年3月末日現在で658.2万人に達し、介護保険制度が開始された2000(平成12)年の256.2万人と比較すると、およそ2.6倍にも増加しています。要介護認定者数の増加に伴い、保険者(市区町村)における事務量も増加しており、郡山市においても、その負担が大きな課題となっています。

こうした中、「働き方改革」や「生産性の向上」等、自治体においても労働環境の変化が求められており、『限られた職員数で、増え続ける事務量を、どのように処理していくか』という課題解決の一つとして、ICT技術、特にAIの活用が注目されています。

この度、株式会社NTTデータ東北様から、『最先端技術で、市民サービスの向上と職員の働き方改革の両方を実現させたい』とのご意向をいただき、今回のプロジェクト始動となりました。